

主題について

ねらいとする価値

働くことは、自分や家族の生活のためだけでなく、他者や社会への貢献という意味も大きい。人のために働くことで人に笑顔を与え、人を幸せにすることができるということを児童が実感することで、進んで人のために働くようとする心情を育みたい。

ここでは、自分にできることをすることが相手を喜ばせることにつながることや、一見大変そうに思える仕事も喜びとして受け止められることのすばらしさに気付かせ、みんなのために働くようとする意欲や心情を育むことをねらいとする。

児童の実態

- ① 児童は4月に「親切・思いやり」の内容項目で、人の気持ちを考え、優しい思いやりの心で接することについて学習している。この際人のために行動を起こすことの大切さについて考える経験をしている。
- ② 係や当番の仕事を楽しく行うことができる児童がいる一方、自分の役割を果たせず、みんなのために働くという意識が薄い児童もいる。
- ③ 道徳の時間では、自信のある考えは積極的に発言している。友達の見解に耳を傾け、自分の考えと比較しながら意見を述べることの楽しさや大切さについて気付きはじめている。

考え、議論する道徳の時間を充実させるために

○ 中心テーマを文章で表記し、ねらいの焦点化を図る

本時の内容項目は「勤労，公共の精神」であり、その中でも「人のために働く喜び」についてねらいの焦点を絞る。しかしそれでもなお、人のために働く喜びとはどういうことなのか様々な捉え方があり、授業をデザインする上で焦点化しきれないとは言えない。児童が何について考え、議論していくのかを明確にし、ぶれない授業を創るために、児童に捉えさせたい授業の中心テーマを以下のように文章化した。

- ・ 私たちは、それぞれで仕事をしている。自分は何のために仕事をしているのだろうか。決まりだからだろうか。しないと怒られるからだろうか。自分にできることをすることで、喜んでくれる人がいるのだな。一見大変だなと思える仕事も喜びとして感じている人もいるのだな。人のために自分が働くことはすてきなことだ。私も自分にできる仕事を見つけて、学級や家族や地域のお年寄りなど人のために自分にできることを頑張りたい。

○ 児童が実感を伴う納得解を得、実生活に生かすことができる道徳学習プログラムの作成

人のために働くことができるようになるためには、働くことの大切さやよさを理解し、自分が今学んでいることとのつながりで捉えることが必要である。本時を離れても学校や家庭など様々な日常場面において本時の学習が生きる学び直ししなければならない。そこで、児童がこれまで問題意識をもっていなかった点に気付いたり、自分と仕事との関わりについて見つめ直したりすることができるように道徳学習プログラムを作成し、次のような工夫をする。

事前に学級活動において「係活動を見直そう」という活動を行い、自分の仕事をきちんと行っているかをその理由とともに振り返らせ、仕事に対する自分の感情を見つめさせる。仕事よりも遊びたい、面倒だ、怒られたくないといった後ろ向きな感情にも向き合わせながら、「人はどうして仕事をするのだろうか」という課題意識を引き出したい。

展開前段においては、「はじめは老人ホームを見てみたいだけだった主人公が、今度また老人ホームに来るのが楽しみだと思ようになったのはなぜだろう。」という発問に対し、小グループ(3人)で話し合いをさせる。主人公が老人ホームで触れ合った人々との関わりによる心の動きを考えることで、児童の仕事に対する価値観の変容を図りたい。また、「この女の子は、どうして仕事をするのでしょうか。」と発問することにより、人が喜んでくれる嬉しさや、自分が人の役に立つことの喜びなどテーマに対する、自分なりの納得解を探す手がかりとさせたい。

展開後段においては、自らの生活を振り返る活動を丁寧に行う。児童の係活動について、級友から感謝の気持ちを書いたカードを受け取り、自分の仕事が級友の役に立っていることやそのことを嬉しいと思う自分に気付かせたい。

授業後は、総合的な学習の時間の「自分たちができることを実践しよう」との関連を図り、大げさなことでも相手のことを考えた行動を進んで行うことで、人に喜ばれる体験をさせたい。

## 本時の学習

### (1) 本時の目標

自分にできることをすることが相手を喜ばせることにつながることや、仕事は辛く苦しいだけのものではないということに気づき、進んで人のために働こうとする心情を育てる。

### (2) 本時の学習展開

過程	学習活動 ○主な発問 ●中心発問 ・予想される児童の心の動き	◇指導上の留意事項 □道徳学習プログラムとの関連 □考え・議論する時間の工夫 *評価
導入	<p>1 事前の活動「係活動を見直そう」についての感想や気づきを確認し、本時の学習テーマを捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなも私と同じで、仕事を頑張っている日もあるけど遊びを優先させしまう日もありました。</li> <li>・先生に怒られたり友達に文句を言われたりするの嫌だから、仕事をしています。</li> <li>・正直、面倒だな、やりたくないなという気持ちがあります。</li> <li>・したくない仕事をするときは、イライラします。</li> <li>・どうして仕事をするのか、考えたことがありませんでした。</li> </ul>	<p>□道徳学習プログラムとの関連</p> <p>事前の活動資料「係活動を見直そう」を掲示しておく。</p> <p>自分の仕事を面倒だと感じたり、遊びを優先させたりして、仕事ができている時があることや、仕事を他律的に考えている現状に気づかせる。また自分の思い通りにならないときの感情にも触れながら、「わたしたちはどうして仕事をするのだろうか」という本時の学習テーマを捉えられるようにする。</p>
	<p>2 資料について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● はじめは老人ホームを見てみただけだった主人公が、今度また老人ホームに来るのが楽しみだと思えるようになったのはなぜだろう。</li> <li>・ 「わたし」には、たいしたことではなくても体の不自由なおばあさんにとっては、やさしくしてもらったことが嬉しくて、喜んでいるおばあさんを見て、自分も嬉しくなったのだと思う。</li> </ul>	<p>◇ 主人公の気持ちの変容を引き起こした3人について挿絵を用意する。この3人との出会いから主人公がどのように価値観を転換していったのかを児童が探ることができるよう、教師は共感しながら聞くとともに必要に応じて次のようなつぶやきや発問を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老人ホームには面白いおもちゃやゲームがあるわけではないのに。</li> </ul>

テーマ わたしたちは どうして 仕事をするのだろうか

<p>展 開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大げさなことでなくても、老人ホームに来てくれて優しくやってくれることがおばあさんは嬉しいのだ。そんなおばあさんを見て、またお手伝いしたくなったのでは。</li> <li>・ おじいさんが得意なことを自分に教えてくれて嬉しかっただけでなく、おじいさんも嬉しそうにしているのを見て、自分も嬉しくなったのだと思う。</li> <li>・ 嬉しいがつながっている。</li> <li>・ お年寄りのおむつを替えるのが平気だという職員の話聞いて、汚いことでも人のためにやっている人はすごいなあと思ったから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お湯をかけるなんて、別にたいしたことではないよね。そんなことで嬉しいの？</li> <li>・ おばあさんが嬉しいのはわかるけど、どうして「わたし」が嬉しいの？</li> <li>・ 習字を教えてもらおうと得するからということですか</li> <li>・ 大人のおむつを替えるなんて、みなさんはどう思いますか？</li> <li>・ 職員は我慢してやっているの？</li> </ul> <p>* 自分にできることをすることが相手を喜ばせることにつながることや、仕事は辛く苦しいだけのものではないということに気付いているか。(発言, 観察)</p>
<p>前 段</p>	<p>○ この女の子は、どうして仕事をするのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おじいちゃん、おばあちゃんが喜んでくれたので、また喜んで欲しいから。</li> <li>・ おじいちゃん、おばあちゃんの笑顔をもう一度見たいから。</li> <li>・ 自分が役に立つことが嬉しいから。</li> <li>・ お母さんを楽にさせたいから。</li> </ul> <p>○ 私たちはどうして仕事をするのでしょうか。みなさんは、どの理由で行動したいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お金では買えない喜びのため。</li> <li>・ 喜んでくれる人や自分の喜びのため。</li> <li>・ 「嬉しい」をつなげるため。</li> </ul>	<p><b>□ 考え、議論する時間の工夫</b></p> <p>仕事に対する自分の考えをじっくり見つけ整理できるように、発問を工夫した。主人公は再度老人ホームに行って仕事をしたいと思っていることを確認した後、「この女の子は、どうして仕事をするのでしょうか。」という発問を設定する。このことにより、損得だけではなく、人が喜んでくれる嬉しさや、自分が人の役に立つことの喜びに気づくのではないかと考えた。</p>
		<p>◇ ワークシートに書く活動に1人で取り組ませた後、3人の小グループで話し合い自由に発言させる。その後全体で、多様な意見に触れられるようにさせる。</p> <p>* テーマ「わたしたちはどうして仕事をするのだろうか」について、自分なりに考えを深めることができているか。(ワークシート, 発言)</p>

<p>展 開 後 段</p>	<p>3 「係活動を見直そう」を再度振り返った後、級友からの「ありがとうカード」を受け取り、感想を交流する。</p> <p>○ 「ありがとうカード」をもらって、どう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の係の仕事がみんなの役に立っていると分かって嬉しかった。</li> <li>・ みんなに「ありがとう」と書いてもらって嬉しかった。</li> </ul>	<p>◇ 資料から離れ、自分のことを見つめ直すことができるように、再度「係活動を見直そう」の活動を振り返らせる。</p> <p>◇ 児童の係活動の様子を写した写真を提示し、教師も児童の活動を賞賛する。その後児童が事前に互いに書いたメッセージカード「ありがとうカード」を受け取り、読む時間を設ける。</p> <p>◇ ワークシートに「ありがとうカード」をもらった気持ちを書かせ、自分の仕事で級友の役に立っていることへの気づきや、そのことを嬉しいと思う自分に静かに向き合わせたい。</p> <p>* 自分が行っている係活動が人を喜ばせていることに気づき、自分も嬉しく思うことを通して、人のために働く意欲を高めているか。（ワークシート、発言）</p>
<p>終 末</p>	<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>○ 今日の振り返りを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ はじめは、仕事をするのは大変なことだと思っていたけれど、みんなのために働くことができるのは嬉しいことだと考えが変わりました。</li> <li>・ 私の係の仕事がみんなのために役立っていることが分かって、これからも頑張ろうと思いました。</li> <li>・ 人はどうして仕事をするのかわかってすっきりしました。</li> </ul>	<p>◇ 「始めの自分の考えと今の自分の考えを比べてみよう。」「今日分かったことやなるほどと思ったことはありますか。」を振り返りの視点として提示する。</p> <p>◇ 働くことの意義について、自己の変容に気づいている児童や、自分にできることを進んで行おうと具体的に考えている児童の言葉を取り上げ、全体で紹介する。</p> <p>* 自分にできることを見つけて、進んで人のために働きたいという意欲を高めることができたか。（ワークシート、発言）</p>